



hida

広 報

ひだ

町 木



第65号

肥 田 町

まちおこし推進協議会

H25.4.1発行



自治会長就任にあたって

自治会長 大 村 恭 三

桜花爛漫の候、町民の皆様には益々ご健勝の段お慶び申し上げます。

この度、私、はからずも伝統と歴史のある町、肥田町の自治会長という重責をお預かりする事となりました。元よりそのような器ではございませんが、役員各位、町民の皆様のご支援ご協力を賜りながら、微力ながら私なりに精一杯取り組んで参りたい所存でございます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

町では、昨年度まで多面的にご指導いただきました「まちづくり委員会」の皆様が、高齢になり引退の要望を受けて、本年度より新しいスタッフを組まれて活動が始まります。また、婦人会は新しく女性会としてスタートされます。旧来以上にご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

さて、ふり返りますと、私の生まれた終戦後では、町内には、同級生は18名(男子9名、女子9名)という時代で育ってきていますが、現在、町に在住はその内の2名となつていま

す。また本年度のピカピカの1年生は一人もいないと伺い残念な思いをしています。一方では独り暮らしの方、二人だけの家庭、空き家の数も増えて少子高齢化をしみじみ感じています。それ故、町の防火、防災への対応も緊急の課題であり、すべてに横のつながりの大切さをしっかりと啓

蒙して参りたいと思っております。また、三津町で起こった1市4町を対象とした大型ゴミ処理施設建設の計画は、当該町を囲む各町自治会の計画撤回への署名運動を始めとした熱い結束が行政当局を動かし、去る2月26日に彦根市長から「候補地とすることを断念した」との明言をいただいております。本件について、肥田町の皆様のご協力に改めて厚く御礼申し上げます。

今日、色々と課題の多い環境、情勢下にありますが、自治会、各種団体、ボランティアサークルの皆さんとも一体となり、支え合って住みよい町、強い町づくりにお役に立てればと思っております。そのためにも、町の先輩の皆様は元より、若い方々のご意見も広くお聞きしながら、少しでも肥田の町が活気のある町、発展する町になりますよう努めて参りますので、皆様方のご理解とご支援のほど重ねてよろしくお願い申し上げます。

私自身は未だ体調も充分ではありませんので、運営上で役員の皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後となりましたが、町民皆様の益々のご健勝とご多幸を念じましてご挨拶とさせていただきます。



平成25年度 自治会役員

自治会長
副自治会長
会計部長
文教部長
福祉部長
環境部長
体育部長
町 顧問
改良組合長
副改良組合長
改良組合会計

三理 一彦 豊孝 俊夫 和夫
恭 真新勝 能恵 光為 久伊
村野 関野 水島 野野 宮
大藤 伊鶴 清鹿 藤森 成辻 成

ファーム肥田

代表理事
理事
理事
運営委員会委員長
副委員長
監事

郎 蔵平 雄弘 雄司
一 猪正 幹喜 俊隆
宮 関摩 田川 野摩
成 伊薩 西宮 鶴薩

祝

四月から中学校へ進学の皆さん おめでとうございます。

皆さんにとって、これからは学ぶ世界も、人と人を結ぶ世界もどんどんと広く深くなって行きます。

中学校生活では、これからの自分を創る知力と体力を鍛え、そして何よりも今、自分の未来のためにも集中力を養っておくことが大切な時だと思ひます。今一つは社会の規範を守ることにも忘れずに。

ここでもう一度、自分の夢をたぐり寄せて、「やり遂げる」こと、「よし」の気合を持って踏み出しましょう。応援しています。



特 別
寄 稿

もっと知ろう地元の大学

“ひと”が好きになる大学 聖泉大学

4月に向けて

聖泉大学 学長 筒井 裕子

町民の皆様には、日頃より聖泉大学に多大なご支援、ご協力を賜り、大変ありがたく御礼申し上げます。

また、公開講座や学園祭にもご参加くださり、学生の励みにもなっております。

学園祭等の運営や内容はさらに、刷新していく必要があると考えています。

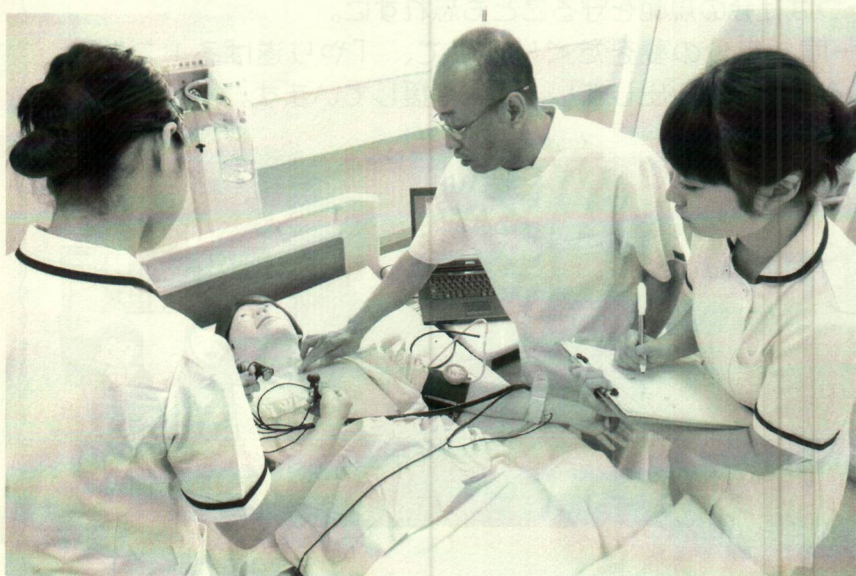
本年、一月発行された広報「ひだ64号」の自治会長様 森野光夫様の「新年を迎えて」の原稿を読ませて頂き、会長様はじめ、肥田町民の皆様が「環境問題や住みよい町づくりなど」、熱心に・活発に活動されている状況を知り、また、肥田町の歴史ある町の発展にご尽力されておられることに感銘を受けました。本学がこの地にあることを誇りに思いました。

また、地域の方々のご支援ご協力でグラウンドの電灯の灯をともしことができ、学生や教職員の願いが叶い、喜びと感謝で一杯です。

さて、四月には新入生を迎え、学生数も計約520名です。26年にはさらに80名が加わる予定でございます。何かとご指導頂くことも多いかと存じますが温かく見守り育てて頂ければ幸いです。

本学の学生は滋賀県はむろん関西圏や中部・北陸さらには沖縄県など多岐にわたる出身県の学生が在籍しています。県内の学生は約八割、この肥田の落ち着いた街に溶け込んで住まわせていただいております。

学びについては人間学部と看護学部の二学部で、文系と理系といった異なる学問領域ですが、何れも人との関わりを大切に、人間理解を中核に一般教養と専門科目の学習を深めています。



す。人間学部は臨床・発達心理専攻、健康運動心理専攻、キャリア創造専攻の三専攻があります。地域の方々には、教員もカウンセリングや子どものサッカー教室や肥満対策の講座など健康づくりや地域スポーツを支える人材養成などに取り組んでいます。特に、近年の企業では人間関係が問題になることも多く、その際、心理学の視点で、企業内での役割を担って行ける人材でもあります。また、看護学部は本年、三期生が入学してきましたので、卒業後は地域の保健医療分野で活躍してほしいと考えております。看護職は現在も不足していますが、医療の進歩に対応した、職業人の育成として、人間理解・自己啓発でき、実践力のある保健師・看護師、養護教諭で、地域に根差した人材の育成に努めております。

この肥田地域で、心身の健康に関わる活動をさせていただければ大変有難いと存じます。

昨年末に、認知症の介護・看護についての公開講座を開かせていただきました。

今後も地域の皆様と共に、健康に関する取り組みをさせて頂ければと考えております。教員の研究領域も様々ですので、お役に立てる教員もおりますので、ご活用頂くこともできるのではないかと考えます。

新学期に向け、よりよい町づくりに学生・教職員も加えていただければ幸いです。

